

### 3.新春恒例の出初式

#### 新春恒例の出初式 全国各地で実施

全国各地域で、新春を飾る恒例の消防出初式が実施されました。

東京消防庁では、1月6日（火）午前9時55分より2004年消防出初式を東京ビックサイト会場において盛大に実施されました。

消防団員や災害時支援ボランティアなどが安全な未来を目指し、陸・海・空一体となって災害に挑む勇姿を披露しました。

開式の後、東京少年消防団による祝賀パレード、中・高校生によるドリル演技、分列行進、恒例の木遣り行進・はしご乗り演技などが行われました。消防演技・一斉放水・はしご隊演技が行われると、大きな歓声が上がっていました。

ポンプ車・はしご車への乗車体験、消防ヘリコプターの展示も好評のうちに閉式となりました。写真は、その出初式の様子です。





[\(画像をクリックすると拡大表示されます\)](#)

## 【コラム】

### <消防出初式の起源>

新年を迎えると、各地の消防本部においては、毎年恒例となっている消防出初式の起源は、遠く万治2年（1659年）にさかのぼります。

明暦3年（1657年）の大火を契機として万治2年1月4日、時の老中稲葉伊予守正則が、定火消総勢4隊を率いて、上野東照宮前で出初を行って氣勢を挙げたことが、当時、焦土の中にあって苦しい復興作業にややもすれば絶望的な状態にあった江戸市民に、大きな希望と信頼をあたえました。

このことが契機となり、定火消の「出初」は、毎年1月4日、上野東照宮前で行われることとなり、次第に儀式化され、恒例行事となって今日の出初式に受け継がれています。（東京消防庁H・Pより）



さいたま市消防出初式は1月11日（日）10時より浦和競馬場内で行われました。消防職団員及び民間防火組織等多数の人達が参加しました。

北風の強く吹く中、恒例の木遣流し・はしご乗りで始まり、競馬場2階スタンドを高屋建物に見立てて、地震により建物が崩壊し、建物内に多数の逃げ遅れた人がいるとの想定で埼玉県防災航空隊と救助隊・梯子隊が連携し、高所からの救出訓練、また分団車両及び航空ヘリからの一斉放水が行われました。

写真は、その出初式の様子です。





[\(画像をクリックすると拡大表示されます\)](#)



松戸消防50周年記念の年にあたる今年の松戸市消防出初式は、平成16年1月7日に消防訓練センターで行われました。

松戸市には、幼少年助成防火委員会があり、幼年消防クラブ8団体、少年消防クラブ1団体、女性防火クラブ13団体で構成されています。各クラブでは、さまざまなイベント等に積極的に

参加し地域住民と一体となった活動を通じ、防火防災意識の高揚を図っています。活動の中でも多くの市民に一番アピールできるのは出初式です。

今年の消防出初式では、幼少年女性防火委員会からは、女性防火クラブ12団体103名の行進参加と幼年消防クラブ員135名のドリル演技が披露されました。

なかでも、一番市民に喜ばれたのがドリル演技です。今年は、大勝院幼稚園幼年消防クラブが出演しました。クラブ員みんなで力を合わせて元気いっぱいがんばりました。



[\(画像をクリックすると拡大表示されます\)](#)

演奏した曲は、「ジッパ・ディ・ドゥー・ダー」「ミッキーマウスマーチ」「イツ・ア・スモールワールド」「星に願いを」の4曲です。年中組の時から基本動作や太鼓のリズム打ち等練習の成果で、自信に満ちた子供達の顔が印象的で、かわいらしい中にも堂々とした演技に、会場に来ていた人達からは、盛大な拍手と歓声が送られました。

---

[▲ このページの上に戻る](#)

## 目次

- [1.新春のご挨拶](#)
- [2.消防防災分野における現下の諸問題への対応策に関する答申](#)
- [3.新春恒例の出初式](#)
- [4.婦人防火連絡協議会幹部地域研修会の実施](#)
- [5.婦人防火クラブ員普通救命講習会及び上級救命講習会の実施](#)
- [6.地方からの便り](#)
- [7.あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [8.日本防火協会からのお知らせ](#)